

## 比較日本学研究センター活動報告

### 【1】比較日本学研究センター運営委員会

森山新（国際日本学）、ロール・シュワルツ・アレナレス（国際日本学）、古瀬奈津子（国際日本学）、小風秀雅（国際日本学）、市古夏生（国際日本学）、岡崎眸（国際日本学）、中村弓子（比較社会文化学）、高島元洋（国際日本学）、徳井淑子（比較社会文化学）、森義仁（比較社会文化学）

- 第1回（平成18年4月19日）
- 第2回（平成18年5月31日）
- 第3回（平成18年6月28日）
- 第4回（平成18年9月27日）
- 第5回（平成18年12月4日）（持ち回り）
- 第6回（平成19年1月17日）

### 【2】比較日本学研究センター研究委員会

森山新（国際日本学）、ロール・シュワルツ・アレナレス（国際日本学）、高島元洋（国際日本学）、小風秀雅（国際日本学）、市古夏生（国際日本学）、神田由築（国際日本学）、頼住光子（国際日本学）、浅田徹（国際日本学）、菅聡子（国際日本学）、秋山光文（比較社会文化学）、中村弓子（比較社会文化学）、中村俊直（比較社会文化学）、新井由紀夫（比較社会文化学）、和田英信（比較社会文化学）、中村美奈子（比較社会文化学）、三浦謙（比較社会文化学）、宮内貴久（比較社会文化学）、古瀬奈津子（国際日本学）、篠塚英子（ジェンダー学際研究）

- 第1回（平成18年4月19日）
- 第2回（平成18年5月31日）
- 第3回（平成18年6月28日）
- 第4回（平成18年9月27日）
- 第5回（平成18年12月4日）（持ち回り）
- 第6回（平成19年1月17日）

### 【3】第8回国際日本学シンポジウム

テーマ 比較日本学研究的対話と深化  
2006（平成18）年7月8日（土）～9日（日）  
（理学部3号館701号室）

▽7月8日（土）

○13：15～13：30 開会式

○13：30～17：00 セッションI

テーマ 日中比較詩学の視点

司会 和田英信（本学助教授）

研究発表 門脇廣文（大東文化大学教授）

「中国詩学における対立する二組の主張」

研究発表 蔡毅（南山大学教授）

「中国における日本漢詩」

研究発表 川合康三（京都大学教授）

「日本の花・中国の花」

○17：00～17：30 センター活動報告

○18：00～19：30 懇親会（大学食堂）

▽7月9日（日）

○11：00～12：00 公開講演会

司会 ロール・シュワルツ＝アレナレス（本学助教授）

パトリシア・フィスター（国際日本文化研究センター助教授）

『京都・奈良の尼門跡と皇女尼僧の美の営み』

○13：30～17：00 セッションII

テーマ 都市の芸術的記憶とアイデンティティー—日本とヨーロッパ：交錯する視点—

司会 ロール・シュワルツ＝アレナレス（本学助教授）

研究発表 ニコラ・フィエヴェ（フランス国立科学研究庁中国日本チベット文明研究センター副所長）

「ヨーロッパと日本の都市における建築文化財の保存についての考察」

研究発表 廣川暁生（日本学術振興会特別研究員）

「16世紀フランドル美術における都市の表象—アントワープの場合」

研究発表 ヴェロニク・ヴェランジェ（フランス国立図書館東洋写本部学芸員）

「エメ・アンベールの『絵で見る日本』（1870年）に見られる江戸の町の表象」

#### 【4】シンポジウム実行委員会

- ・センター長：森山新（国際日本学）
- ・専任教員：ロール・シュワルツ＝アレナレス（比較日本学研究センター助教授）
- ・センター運営委員会
- ・センター研究委員会
- ・和田英信（比較社会文化学）

#### 【5】比較日本学研究センター公開講演会

○第1回 2006年（平成18年）9月8日

ダニエル・ストリューヴ（国文学研究資料館）  
「西鶴と『徒然草』」

○第2回 2006年（平成18年）12月8日

黄正建（中国社会科学院歴史研究所）  
「日唐律令制比較研究の新段階～天聖令をめぐる～」

○第3回 2006年（平成18年）12月17日

「比較と交流—日本学における対話と深化」

李徳奉（韓国・同徳女子大学校）

「異文化理解教育と交流」

趙順文（台湾・台湾大学）

「漢字圏国家の常用漢字について」

ティモン・スクリーチ（英国・SOAS）

「日本橋の図像学」

ダヴィッド・ラブス（チェコ・カレル大学）

「横井小楠：感情と合理」

郭連友（中国・北京日本学研究センター）

「梁啓超と吉田松陰」

朴晋雨（韓国・淑明女子大学校）

「開港期の釜山から見た韓日民衆の相互認識」

○第4回 2007年（平成19年）1月23日

曹大峰（北京日本学研究センター）

「多文化共生社会のための多言語コーパス開発と研究利用—中国の日本学研究と教育の現状報告を兼ねて—」

#### 【6】第1回国際日本学コンソーシアム

テーマ 日本学における教育・研究の国際協力の可能性について

主催：お茶の水女子大学比較日本学研究センター、同大学院国際日本学専攻

▽12月15日（金）

○13：00～17：30 日本語学・日本語教育学部門  
国際ジョイントゼミⅠ（人間文化研究科棟6階大会議室）

司会 森山新（比較日本学研究センター長）

研究発表

1. 星野祐子（本学大学院生）「日本語相談談話の談話分析」
2. 林科成（台湾大学大学院生）「認知言語学から見た「手」に関する一考察」
3. 孫愛維（本学大学院生）「第二言語および外国語としての日本語学習者における非現場指示用法の習得」
4. 楊虹（本学大学院生）「中日接触場面のグループ討論における成員の参加のし方」
5. 金賢熙（同徳女子大学大学院生）「韓国の聾学校における日本語教育の実態と課題」
6. 申恩浄（同徳女子大学大学院生・本学留学中）「日本語学習者の個性の働き—心理類型要因を中心—」
7. 趙蓉（北京日本学研究センター大学院生・本学留学中）「日本語の二格についての研究—中国語との対照を兼ねて—」

指導教員 李徳奉（同徳女子大学校）、趙順文（台湾大学）、高崎みどり（本学）、森山新（本

学)

○19:00~21:00 郷通子学長主催歓迎レセプション (ホテルベルクラシック東京)

▽12月16日 (土)

○10:30~12:00 パネルディスカッション (理学部3号館701教室)

テーマ「日本学における教育・研究の国際協力の可能性について」

司会・パネリスト 小風秀雅 (コンソーシアム実行委員長)

パネリスト

李徳奉 (韓国・同徳女子大学校)

趙順文 (台湾・台湾大学)

ティモン・スクリーチ (英国・SOAS)

ダヴィッド・ラプス (チェコ・カレル大学)

郭連友 (中国・北京日本学研究中心)

朴晋雨 (韓国・淑明女子大学校)

森山新 (本学比較日本学研究中心長)

○13:30~18:00 日本文化・日本文学部門 国際ジョイントゼミⅡ (理学部3号館701教室) 研究発表

1. Alan Cummings (SOAS大学院生) 「死も茶番か 鶴屋南北における死とユーモアの絡み合い」
2. 清水恵美子 (本学大学院生) 「岡倉覚三のオペラ台本“The White Fox”(白狐)をめぐる」
3. 鄭舜瓏 (台湾大学大学院生) 「中島敦についての一考察」
4. Jana Ryndova (カレル大学大学院生) 「文学作品における義経伝説」
5. 陳羿秀 (台湾大学大学院生) 「日中両国における遊里生活の比較について」
6. 温穎 (北京日本学研究中心大学院生) 「黄遵憲における明治維新観の転換—『日本雑事詩』の改訂をめぐる」
7. 芹沢良子 (本学大学院生) 「日本統治期台湾におけるハンセン病対策」

8. 朴玟宣 (淑明女子大学大学院生) 「1945~1953年の“在日”マイノリティー運動研究—在日本朝鮮人連盟と沖縄人連盟を中心に—」

指導教員: 朴晋雨 (淑明女子大学校)、郭連友 (北京日本学研究中心)、ダヴィッド・ラプス (カレル大学)、ティモン・スクリーチ (SOAS)、小風秀雅 (本学)

○18:30~20:30 懇親会 (大学食堂マルシェ) 12月17日 (日)

○公開講演会 (理学部3号館701教室)

テーマ 比較と交流—日本学における対話と深化

第一部 10:30~12:30 (理学部3号館701教室)

司会 森山新 (本学)

李徳奉 (同徳女子大学校)

「異文化理解教育と交流」

趙順文 (台湾大学)

「漢字圏国家の常用漢字について」

第二部 13:30~17:00 (理学部3号館701教室)

司会 ロール・シュワルツ=アレナレス (本学)

ティモン・スクリーチ (SOAS)

「日本橋の図像学」

ダヴィッド・ラプス (カレル大学)

「横井小楠:感情と合理」

司会 小風秀雅 (本学)

郭連友 (北京日本学研究中心)

「梁啓超と吉田松陰」

朴晋雨 (淑明女子大学校)

「開港期の釜山から見た韓日民衆の相互認識」

【国際日本学コンソーシアム参加大学】

去る2006年(平成18年)3月14日、本学の呼びかけにより、「日本学における国際的なジョイント教育推進のための予備会議」が開催され、日本学研究中心の国際的コンソーシアム結成について話し合わせ、合意に至った。

ロンドン大学・東洋アフリカ研究学院（英国）、  
国立台湾大学（台湾）、カレル大学（チェコ）、  
淑明女子大学校（韓国）、同徳女子大学校（韓国）、  
北京外国語大学（中国）、お茶の水女子大学（日本）

### 【7】第2回国際シンポジウム

2006年（平成18年）12月9日（土）

「哲学・倫理・宗教思想－日本とフランス：交差  
する視点－Ⅱ」

○9：00～9：30 開会式

○9：30～10：30 講演討論

イブ・シュワルツ（エクス・アン・プロヴァン  
ス大学教授）

「活動概念に関する文化史の概観」

○10：40～17：00 発表討論

テーマ：言語と思想

日本側発表

頼住光子（本学助教授）

「日本の大乘仏教における倫理と言語」

小濱聖子（本学大学院生）

「禅の対話に関する研究」

石崎恵子（本学大学院生）

「西田哲学と言語」

フランス側発表

エマニュエル・カタン（ブレーズ・パスカル  
大学教授）

「神の名前」

エリザベス・シュワルツ（ブレーズ・パスカ  
ル大学教授）

「ヴィトゲンシュタインによる西欧文化への  
批評における思考と言語」

ローラン・ジャフロ（ブレーズ・パスカル大  
学教授）

「内的言説と道徳哲学・ストア的独語」

アラン・プティ（ブレーズ・パスカル大学助  
教授）

「プロティノスの思想におけるロゴス、思考、  
内省」

中村俊直（本学教授）

「言語そして／またはイメージ北斎を賞賛  
するヴァレリー」

17：00～17：15 閉会式

### 【8】第2回 特別講義

2006年（平成18年）12月14日（木）

13：20～14：50

「文楽三味線について」

出演者 鶴澤清二郎（文楽座）